

《学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動について》

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.3 令和4年5月30日 文責 渡邊

## 第1回応援団会議を開催

令和4年5月11日(水)に、第1回「桑村小学校応援団会議」を開催しました。

委員の皆様方には、第5校時の授業を参観していただき、その後、「応援団会議」を開催しました。

はじめに、函南町教育委員会学校教育課指導主事より、函南町学校運営協議会(コミュニティ・スクール)についてお話をいただきました。その中で、学校運営協議会の主な役割についての説明がありました。

### 【学校運営協議会の主な役割とは】

- ①地域と学校が共通の目標に向かっていくために、校長の作成する学校運営に関する基本方針を承認する。
  - ②学校の抱える課題やよりよい教育活動を進めるために話し合い、学校運営について合議体として校長や教育委員会に意見を述べるができる。
  - ③教育目標の実現に向けた校内体制の整備を図る観点から、意見を述べるができる。
- (※一部略)

次に、学校長より令和4年度の学校経営方針について説明しました。この中で、本校児童につけたい資質・能力を、①「聞き・話す力」、②「相手を大切にしていよりよく行動する力」、③「めあてに向けて取り組み続ける力」、④「豊かな感性」、⑤「深い思考力」と設定し、全校体制で育成していくこと。そして、学校と保護者、地域社会と連携し、自然豊かな環境を生かした体験活動と読書活動をつないでいくことを説明しました。

参加した委員から、「令和4年度学校経営方針」について承認をいただきました。



【話し合いの様子】



【奉仕作業の様子】



【緑の少年団の活動】

次に、教頭から、「桑村小学校応援団会議」の運営構想について説明しました。

【桑村小学校 コミュニティ・スクール 「地域とともにある学校」】

- ①基礎基本の定着「学びづくり」－桑村道場
- ②豊かな「体験づくり」－原生林体験、田植え・稲刈り、お茶摘み体験等
- ③子供たちの学びを支える「安心・安全づくり」－各地区の見守り隊等
- ④豊かな心を育む「心づくり」－読み聞かせ、手作り紙芝居等

これまでの活動を振り返ったとき、登下校の見守り活動や、田植え・稲刈り、お茶摘み体験や畑での野菜栽培など、地域の方々の力を借りて、多くの教育活動を行ってきました。これらの活動に御協力いただいている地域の方々相互の関係と、学校運営協議会との関係をつなぎ、一体となって活動できています。

5年が経ち、段々と波に乗ってきた本校の学校運営協議会ですが、委員や保護者が変わることによって、本活動の取組が周知できていないのではないかとということが課題として挙げられました。

そこで、本年度は、「学校応援団会議便り」を作成し、保護者には便りで、地域の皆様にはホームページ上で広く啓発していることを伝えました。

【参加した委員から】

【マスクの着用について】

- ◆感染症対策と熱中症予防について、今後、熱中症が心配される。マスクの着用など、屋外での活動について、外すことを考えてはどうか。
  - ◆屋外で、風のあるときはマスクを外してもよいが、まだまだ感染が心配されるのではないかと。特に、体が弱っているときは気をつけることが必要。
  - ◆登校している子供たちは、健康観察を家庭でしっかり行い「健康」であるということが前提である。今後、熱中症が心配される中で、子供たちはマスクを外すことを意識していない。この傾向は、中学生にも見られる。自分で考え、判断できればよいのだが、そうでなければ生命に関わるものである。登校中、長い距離を歩く子供たちにとってマスクの着用はどうかと思う。
  - ◆これから暑い夏をむかえ、熱中症は心配である。車内でもマスクを外さないことが多い。
- ※マスクの着用については、児童の健康と生命を第一に考えて指導していきたいです。また、これから暑くなる現状から、少しでも涼しい時間帯に登校できるように、児童用玄関を開ける時刻を早めることも考えたいです。

【地域の協力について】

- ◆年々、児童数が減少し、校地内の草取りがたいへんな状況になっているのではないかと。PTAだけでなく、地域の方に呼びかけたらどうか。
  - ◆以前植えた桑の木の周りの草が伸びていて残念である。学校で手が足りないときは声をかけて欲しい。
  - ◆地域の応援はありがたいが、万が一、ケガが発生したときの保障の問題がある。危険があるものについては慎重に行うことが必要ではないか。
- ※今回の整備作業には、児童、保護者、職員とともに応援団の方々にも参加していただきました。参加いただいた皆さんの応援に対し、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。